

バヌアツ国
サラカタ川水力発電所建設計画(第三期)
予備調査Ⅱ
(環境社会配慮確認調査)
報告書

平成18年4月
(2006年)

独立行政法人 国際協力機構
無償資金協力部

無償
J R
06-133

序 文

日本国政府はバヌアツ政府の要請に基づき、同国のサラカタ川水力発電所建設計画(第三期)にかかる予備調査を行うことを決定し、独立行政法人 国際協力機構は平成16年7月から8月まで予備調査を実施し、国内関係者との間で当該分野の支援計画について協議しました。

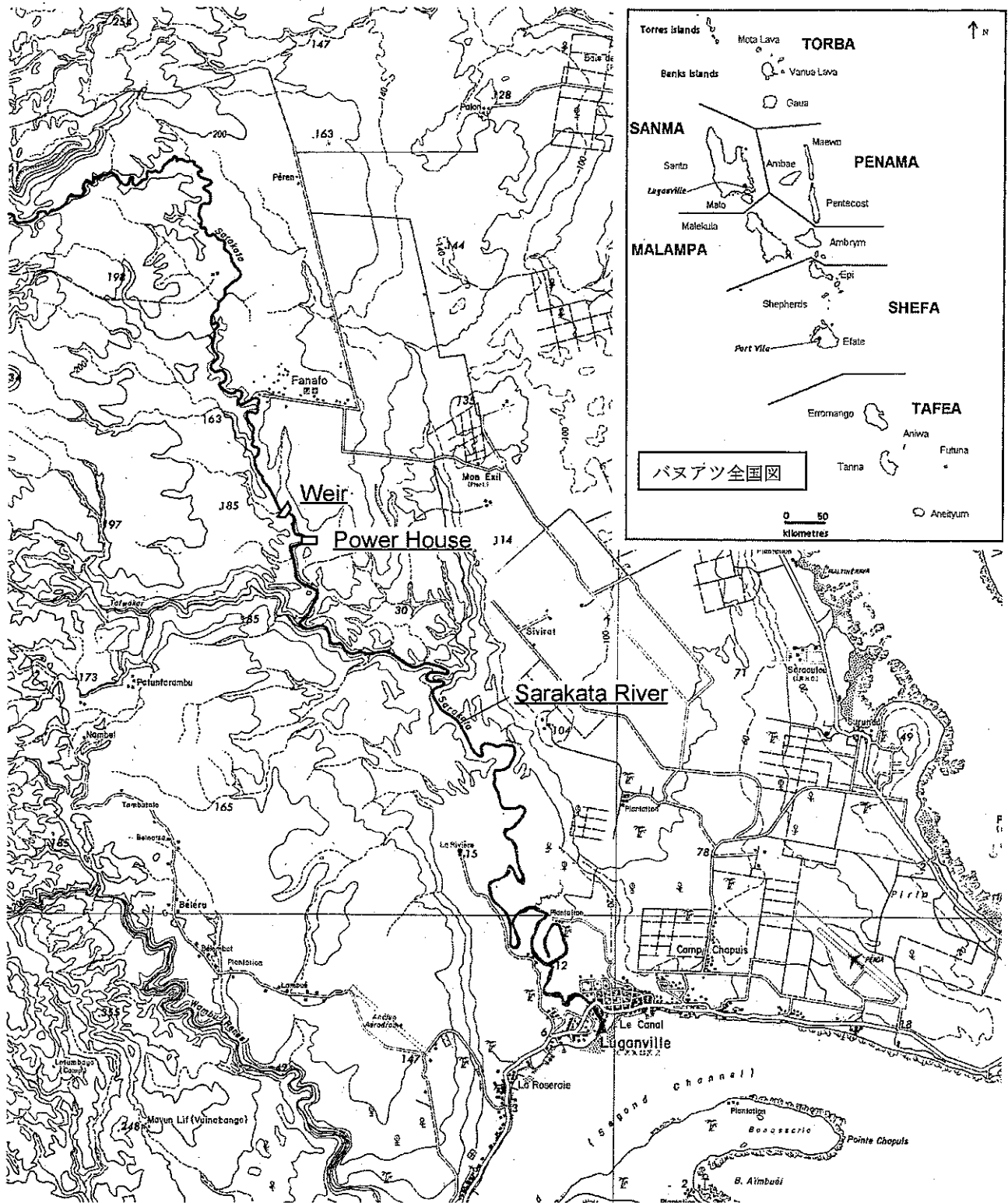
当該調査の結果を受けてバヌアツ政府が環境社会配慮にかかる対応を行い、これを完了させた旨の報告があったことから、独立行政法人 国際協力機構は平成18年3月に予備調査Ⅱを実施し、環境社会配慮上の諸事項の対応状況を確認いたしました。

この報告書が、今後予定される基本設計調査の実施、その他関係者の参考として活用されれば幸いです。

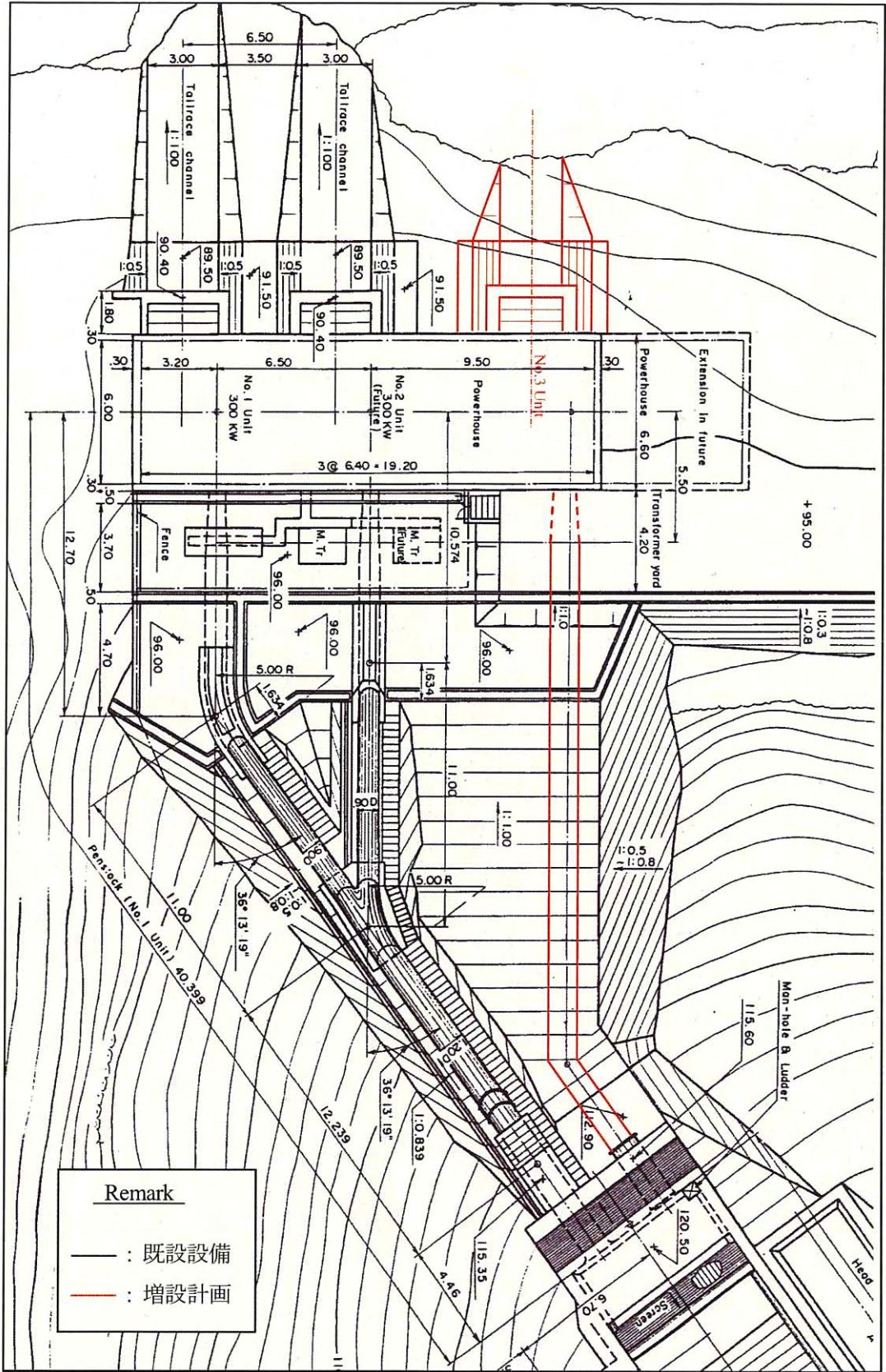
終わりに、調査にご協力とご支援をいただいた関係各位に対し、心より感謝申し上げます。

平成18年4月

独立行政法人国際協力機構
無償資金協力部長
中川 和夫



サラカタ水力発電所位置図



3号機増設計画 (平面図)

関連写真



(1) 雨季のサラカタ取水施設（豊水期）



(2) 取水口の状況
(ほぼ満水状態で取水している)



(3) 水路と地盤とが完全に分離



(4) クラックの内部
(かなり深くまでクラックが進行している。)



(5) 水路本体のひび割れ



(6) 土砂流入防止ネット
(管理されていない。)



(7) クラックの埋め戻し工事。その上に写真(10)のプラスチックシートを被せ雨水の浸入を防ぐ。



(8) クラック掘り起こし作業終了分



(9) 地滑りによって生じた段差



(10) 雨水侵入防止用プラスチックシート



(11) 土地問題ステークホルダーミーティング



(12) ステークホルダーミーティング参加者